

平成29年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業概要一覧

NO	対象事業	申請団体名	決算額(円)	交付確定額(円)	事業名	事業内容	事業効果	実施期間	実施場所	参加人数	備考
1	スタート事業	大井盆踊り大会実行委員会	212,860円	50,000円	大井盆踊り大会	昨年、地域でつくった「大井音頭」を活用して、地域の全ての住民が集まり、交流できる場づくりを行う。	当団体としての開催1年目にしては多くの人が集まり、大井音頭を踊ることができた。	平成29年8月19日～平成30年3月15日	大井神社	500名	
2	スタート事業	大井町文化振興会	188,733円	100,000円	第1回大井町文化発表会	・高齢者の生きがいづくりと地域住民の交流の場づくりを行う。 ・地域の強みである文化活動の成果を地域全体に披露するとともに、その場で老若男女関係なく交流できる場をつくることで、地域で顔の見える(助け合える)関係づくりのきっかけをつくる。	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加者が地域の文化活動に触れ、新たな地域の魅力を知ってもらう機会をつくれた。	平成29年4月30日～平成30年1月16日	大井小学校	(1)舞台発表の部…11演目(合計約90名) (2)展示発表の部…16作品(60名) (3)当日来場者…数百名	
3	スタート事業	べついんいきいきサロン	160,001円	136,401円	べついんいきいきサロン	移動式サロンの開催 一人での移動が難しい方にも参加してもらうため、自分たちが向いて市民の近くに「集いの場」をつくる。 ・健康チェック ・認知症予防ゲーム ・健康体操	サロンを移動式で行うことで各区の人たちに参加してもらえた。また、事業実施により、一人暮らし高齢者の方の生活の状況などの情報を得ることができた。	平成29年5月1日～平成30年3月28日	西別院町	移動式サロン(全9回):72人 講演会(全5回)103人	
4	ステップアップ事業	Office Com Junto	228,657円	180,000円	外国につながる子ども・保護者の支援事業	①ひまわり教室の開催月に3回開催、主に子どもの学習言語力の支援を行う。 ②課外学習 他の子どものグループとの交流事業や子どもの保護者に自信を持ってもらうことを目的とした事業を開催する。	子どもたちへの学習支援はもちろん、教員などへの子どもを取り巻く大人たちに事業の必要性や具体的な支援体制の在り方について理解を深めることができた。	平成29年4月1日～平成30年3月31日	馬路文化センター 法華寺 ゲストハウス藤原邸 ガレリアかめおか	ひまわり教室:毎回20名程度(1カ月に3回実施)	
5	ステップアップ事業	馬路盆踊りサークル	1,044,100円	200,000円	「馬路音頭」普及推進事業	・馬路町の情景が浮かぶ「馬路音頭」を地域のコミュニティーの場(運動会、敬老会、文化祭等)で活用し、地域住民が共通の踊りで交流を深める機会をつくる。また、踊りには健康体操の要素を追加することで、町民の健康増進にもつなげる。	地元の町民の集まりや学校機関との連携を活かして馬路音頭を普及させることで、住民の健康増進と郷土愛を育む機会をつくれた。	平成29年5月1日～平成30年3月8日	馬路町一円	参加者数延1000人(普及活動全12回)	
6	ステップアップ事業	70's Project	301,485円	200,000円	セカンドライフ応援プロジェクト～お父さんのための“特別講座”～	セカンドライフのプランニングのお手伝いをする。 ①企業編②地域編③家庭編の3クールで、企業での経験をセカンドライフでどのように活かしていくのかなどの講座を全9回開設する。	30代から80代まで幅広い年齢層の参加者があり、早い段階から自分のセカンドライフに向き合ってもらった機会をつくれた。	平成29年4月1日～平成30年2月24日	安町ホーム和の家	合計参加者数31人(男性22人、女性9名)(30代2人、40代1人、50代7人、60代15人、70人5人、80代1人)	

平成29年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業概要一覧

NO	対象事業	申請団体名	決算額(円)	交付確定額(円)	事業名	事業内容	事業効果	実施期間	実施場所	参加人数	備考
7	ステップアップ事業	かめおか遊友ネットワーク	211,479円	200,000円	亀岡を元気にするアクションプロジェクト	市民のために開かれ、教えられたり、教えたりする参加型、アクションスタディーが可能な場づくりを行う。 WAKUWAKUフェスティバルの開催	高齢者の外出の機会、子どもの健康、体力づくりの機会を作ることができた。運営体制も市民サポーター、学生サポーターと協力することで充実させることができた。	平成29年4月22日～平成30年1月20日	京都学園大学体育館	・市民サポーター及びゲスト79人 ・学生サポーター48人 ・当日参加者300人	
8	ステップアップ事業	重利の山を守る会	218,000円	200,000円	森林の保全～緊急災害時の対応と地域の絆づくり～	・山の整備 ・前年度つくった活動拠点を活用した、地域での避難訓練の実施 ・廃材を活用した木工教室(山を整備することの大切さ、自然環境の大切さを子どもに伝える)	前年度に造ったログハウスを地域の環境教育や防災教育の拠点として、子供から高齢者までを事業に巻き込むことができた。また、廃材を販売して自己資金獲得に向けた体制づくりも開始できた。	平成29年4月1日～平成30年3月31日	曾我部町重利	事業参加者数259人	
9	ステップアップ事業	亀岡全国ふるさと連合会	241,735円	79,000円	第3回亀岡全国ふるさと連祭り	・第3回亀岡ふるさと連祭り 各都道府県のふるさと出身者同士の絆づくりとふるさと出身者と亀岡市民との交流の場づくりを行う。	地域別に分かれて故郷を思い出しながら交流することができた。講演では亀岡市の地域の課題についても着目できた。	平成29年4月1日～10月22日	ガレリアかめおか	105人	
10	ステップアップ事業	自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会	93,320円	85,000円	おらがまち・むらのすごいところ大発見と農福マルシェ～地域の誇りが人を繋ぎ、小さな経済を動かしていく～	①自然豊かな未来をつなぐ地域協議会(3周年記念フォーラム) ②おらがまち・むらのすごいところ大発見 ③(仮称)亀岡農福マルシェ	中山間地の課題を障害のある人たちの仕事づくりを通して解決するきっかけをつくれた。特にこれまでの勉強会の成果を農福マルシェと目に見える活動につなげることができた。	平成29年4月1日～平成30年3月31日	第三かめおか作業所等	①フォーラム37人 ②おらがまち・むらのすごいところ大発見45人 ③マルシェ400人程度	
11	市民連携事業	NPO法人プロジェクト保津川(連携先:亀岡みらいパース)	742,835円	350,000円	みんなで調べて学ぶ亀岡の自然と文化	・河川空間や水田などの水辺、湿地環境の状態を把握するために指標生物であるツバメの巣の数や位置情報の調査を行う。 ・その調査の過程や結果を活用し、「ツバメも子育てしやすいまち」をテーマに、シンポジウムを開催して、市民が自然環境の価値を再認識できる機会をつくる。	336箇所のツバメの巣の情報が市内から寄せられた。シンポジウムでは亀岡の自然環境の現状について議論が深められた。	平成29年4月1日～平成30年3月31日	亀岡市内全域及び事務所	①調査報告数336 ②シンポジウム参加者数60名	